



広報

木城町広報誌 きじょう

2014

5

No.349

特集

『めばえ保育園』開園

INDEX

- 平成26年度施政方針・当初予算の状況
- 役場機構図
- 役場のニューフェイス／消防団辞令交付式
- まちの話題
木城町交通指導員委嘱状交付式／
木城町交通安全の集い／農業委員の紹介
- 人間萬歳／総合型地域スポーツクラブ誕生
- いぶきNo.96
- えほんの郷だより／町の人口



情報提供・お問い合わせ先

[Eメール] soumu@town.kijo.jp

ホームページアドレス

[URL] <http://www.kijo.jp/>





めばえ保育園、開園

平成26年4月1日開園式が開催されました。町長、議長ほか町関係者や保護者ら約200人が完成を祝いました。

中央保育所は、37年ぶりに移転改築を行い、名称も「中央保育所」から「めばえ保育園」へと改称されました。

従来より床面積が倍近く広くなり、高齢者が集う「ふれあいプラザ」も併設されました。新しい園舎は、木造平屋建てで床面積は1209㎡。県産材をふんだんに使い、採光性や風通しを良くしました。

年齢に応じた保育室5室、約200人が収容できるホール、親子で遊べる「地域子育てセンター」、幅2・5mのデッキを備えています。本園は、県よりエコ保育園として認定を受けており、施設の屋根には5kwの太陽光発電パネルを設置しています。また、園庭にも菜園を設け、生ごみの堆肥化など環境にやさしい保育園を目指しています。



幅 2.5m開放的な通路になっています



廊下側に窓を多く取り、採光がたくさん取れるようになっています



クウーちゃん

保育方針 目指す園児像

めばえ保育園は「健康な体」と「豊かな心」を保育の基本として次のことを保育目標としています。

- ・よく考え自分の意見が言え、友だちの考えも聴ける子どもを育てます。
- ・様々な体験を通して何にでも挑戦しようとする意欲的な子どもを育てます。
- ・思いやりや優しい気持ちが持て、感性豊かで心豊かな子どもを育てます。
- ・健康で安全な生活ができ、何でもよく食べ元気いっぱいの子を育てます。



町長や園児たち、木城町マスコットキャラクター「キックン」「クウちゃん」が除幕を行いました

園庭にはプールも設置されています



同敷地内に地域の方々が集える「ふれあいプラザ」を併設しています



広い園庭には、カラフルな遊具が設置されています



約 200 人が収容できるホール



キックン



開園式では園児たちの踊りが披露されました

平成26年度施政方針

「財政の健全化や住民の福利向上を目指して」

平成26年第1回木城町議会定例会が開会され、平成26年度木城町一般会計予算など38件の議案及び1件の諮問が上程され可決されました。

田口晃史町長が示した、平成26年度の町政運営に関する基本方針について紹介します。

平成26年度のが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減には留意が必要であります。本年度の補正予算5.5兆円と26年度の経済対策により、年度を通してみれば前年度に引き続き堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれると考えられています。

民ニーズに適切に対応した行政サービスが展開できるよう措置しました。

特に、町民本位の福祉向上と地域の発展や、農林業の振興、教育の充実、安全で安心な暮らしのための予算編成を行ったところであります。

本町は、これまでも財政の健全化や住民の福利向上を目指して行財政改革に取り組んできましたが、将来世代に迷惑をかけるまいにも、引き続き事務事業の改善や行政経費の削減等に積極的に取り組んでいく必要があると思えます。

こうした中、当初予算編成は39億6千900万円とし、予算編成にあたっては、必要且つ重要な事業について計上いたしました。

本町においては、小丸川発電所の固定資産税により収支の均衡は今のところとれておりますが、より一層徹底した歳入確保や、歳出全般にわたる見直しを行い、住



平成26年度 木城町予算の状況

平成26年度 木城町当初予算の状況

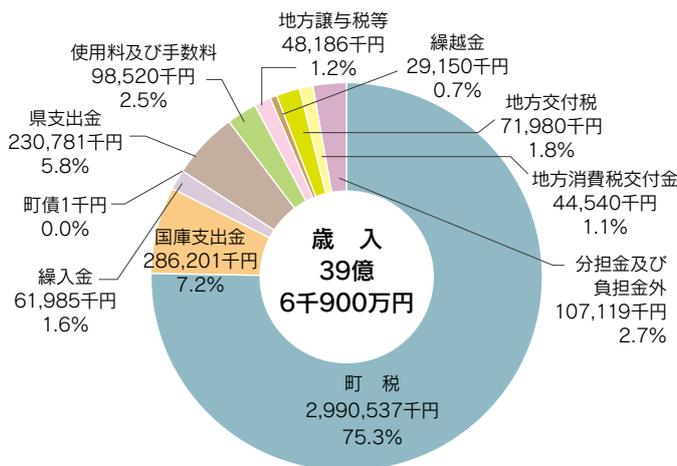
平成26年度、当初予算は、一般会計39億6千900万円、特別会計18億4千620万円に決まりました。小丸川発電所の固定資産税（大規模償却資産）の減少により町税はやや減少しましたが、自主財源の比率は依然高い水準を維持しています。歳入の75.3%に当たる町税は29億9053万円、小丸川発電所の大規模償却資産を含む固定資産税が9割近くを占めています。歳出面では、建設事業費が5億6195万円（前年度比6%減）となつています。なお、主な建設事業は次ページを参照してください。

また、社会保障関係費等の扶助費の増など財政を圧迫する要因もあることから、より一層の歳入歳出の見直しを行い町民の福祉向上と地域の発展のため財源配分を行いました。対前年度当初比は1.1%の減となっています。

目で見える一般会計予算

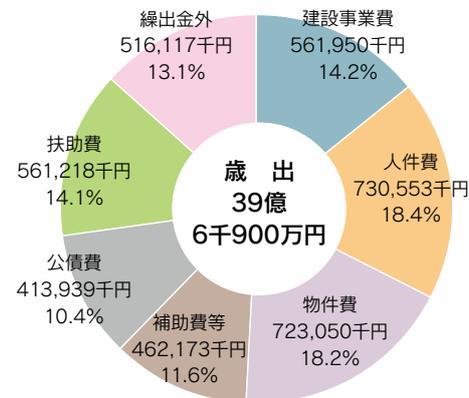
第1図 歳入の構成

歳入を性質別に見ますと、町税、使用料及び手数料等の自主財源が83.0%、国・県支出金、地方譲与税等の依存財源が17.0%となっています。



第2図 歳出の構成

歳出を性質別に見ますと人件費、扶助費、公債費の義務的経費が42.9%、建設事業費等の投資的経費が14.2%、物件費等の一般行政経費が42.9%となっています。



第3図 町税の内訳

(単位：千円)

| 税目 | 金額 (千円) | 種別 | 金額 (千円) | 割合 (%) |
|-------|-----------|------|-----------|--------|
| 町民税 | 134,921 | 個人 | 116,115 | 3.9% |
| | | 法人 | 18,806 | 0.6% |
| 固定資産税 | 2,813,735 | 土地 | 53,947 | 1.8% |
| | | 建物 | 162,882 | 5.5% |
| | | 償却資産 | 2,563,773 | 85.7% |
| | | 交納付金 | 33,133 | 1.1% |
| 町たばこ税 | 25,620 | | 25,620 | 0.9% |
| 軽自動車税 | 16,261 | | 16,261 | 0.5% |
| 計 | | | 2,990,537 | 100.0% |

平成 26 年度当初予算の主な建設事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 |
|------------------|---------|
| 庁舎附属棟建設工事 | 245,000 |
| テニスコート設置工事 | 45,000 |
| 比木橋高欄改修工事 | 45,000 |
| 溜水田神線改良舗装工事 | 19,000 |
| リバーサイドコスモス塗装修繕工事 | 12,656 |

起債現在高 (平成 25 年度末見込)

(単位：千円)

| 土木 | 教育 | 住宅 | 農林水産外 | 計 |
|---------|-------|---------|-----------|-----------|
| 144,287 | 9,160 | 184,809 | 1,882,731 | 2,220,987 |

積立金の状況 (平成 25 年度末見込)

(単位：千円)

| 財政調整基金 | 町債管理基金 | 公共施設等整備基金 | 土地開発基金外 | 計 |
|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| 3,325,531 | 101,435 | 235,568 | 310,650 | 3,973,184 |

全会計予算

(単位：千円)

| 会計名 | 平成 26 年度 | 平成 25 年度 | 比較 |
|----------------|-----------|-----------|----------|
| 一般会計 | 3,969,000 | 4,012,000 | △ 43,000 |
| 国民健康保険会計 | 848,000 | 850,000 | △ 2,000 |
| 簡易水道会計 | 111,000 | 126,000 | △15,000 |
| 下水道会計 | 178,000 | 162,000 | 16,000 |
| 介護保険会計(保険事業) | 630,000 | 600,000 | 30,000 |
| 介護保険会計(サービス事業) | 11,200 | 7,700 | 3,500 |
| 後期高齢者医療会計 | 68,000 | 61,000 | 7,000 |
| 計 | 5,815,200 | 5,818,700 | △ 3,500 |

平成26年度に予定している主な建設事業は、庁舎附属棟の建設工事2億4500万円、旧石河内小学校運動場のテニスコート設置工事4500万円、比木橋高欄改修工事4500万円等となっています。

借金に当たる起債現在高は、22億2098万円となっています。また、貯金に当たる積立金は、39億7318万円となっており、起債現在高を約17億5000万円上回っています。



木城町役場機構・職員配置図

平成26年4月現在

特別職 3名

一般職 90名

定数 98名

課長職

課長補佐職

係長職

係員



町長 田口 晃史

副町長 半渡 英俊

農委

教育委員会
教育長 中竹 聖子

議会

監査

平成26年度 木城町消防団幹部・部長名簿

【 幹 部 】

| 階 級 | 氏 名 | 管轄地区 |
|-------|-------|-----------------|
| 団 長 | 矢野 哲也 | |
| 副団長 | 吉良 清志 | |
| 副団長 | 清 哲郎 | |
| 第1分団長 | 高橋 茂義 | 第1部～第6部 |
| 第2分団長 | 重永 建二 | 本部、 第7部～第11部 |



【 部 長 】

| 階 級 | 氏 名 | 管轄地区 |
|-------|-------|------------------------|
| 本部部長 | 森 秀仁 | 町内全域 |
| 1部部長 | 後 哲夫 | 田畑、一向瀬、重木 |
| 2部部長 | 押川 文弘 | 四日市、出店、池田、中川原 |
| 3部部長 | 宮越 真也 | 中椎木 |
| 4部部長 | 平野 豊和 | 岩淵上・下 |
| 5部部長 | 吉岡 雄輝 | 比木 |
| 6部部長 | 安田 剛 | 陣之内、牧之内、中原、 溜水、百合野 |
| 7部部長 | 宗石 栄治 | 大字高城(中川原、 田神、岩戸を除く) |
| 8部部長 | 渡邊 雅洋 | 田神、岩戸、新岩戸 |
| 9部部長 | 長友 寿紀 | 大字川原全域 |
| 10部部長 | 黒木 隆志 | 大字石河内全域 |
| 11部部長 | 中嶽 和弘 | 大字中之又全域 |
| ラッパ隊長 | 神田 修 | 兼務 |

※2, 4, 8, 9部部長は再任。

役場のニューフェイス



ひだか よしき
日高 欣希
(税務課)

4月から木城町役場で勤務することになりました。住民の皆様が話しかけやすい雰囲気づくりのためにあいさつを笑顔でしていきたいと思えます。そして、住民の皆様が住みやすい町づくりを目指して日々努力していきたいです。よろしくお願いいたします。



かねまる たかひろ
金丸 尚裕
(環境整備課)

今年から木城町役場で勤務することになりました。この4年間は鹿児島で生活していましたが、慣れ親しんだ自然豊かな木城町に帰ってくるのができ、うれしく思っています。分からないことばかりで不安もありますが、より良い町づくりに貢献できるよう努力していきたいと思えます。



ほりぐち たいき
堀口 太暉
(環境整備課)

今年度から木城町役場に入庁しました。私は生まれ育った木城町で働きたいと思っていました。まだまだ分からないことだらけですが、町で見かけたときに声をかけてもらえるような職員になりたいと思っています。よろしくお願いいたします。



たかの なるひと
高野 成仁
(教育課)

4月から教育課で勤務することになりました。社会人1年目ですが、積極的に木城町民の為に働きたいと考えています。初めてのことでばかりで町民の皆様にご迷惑をおかけすることがありますが、精一杯のことをしていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。



ながはま ゆう
長濱 優
(町民課)

4月から町民課の勤務となりました。役場の顔でもあり、たくさんの方が来られますので、笑顔で明るい対応を心がけていきたいです。また、私は宮崎市出身なので、もっと木城町のことを知り、町民の方がより良い生活を送れるように最善を尽くします。よろしくお願いいたします。

平成26年度 木城町交通指導員委嘱状交付式

平成26年度木城町交通指導員委嘱状交付式が行われました。

本町における交通安全を確保するため、交通安全期間中の早朝及び夜間の街頭指導のほか、戦没者慰霊祭、ふるさとまつり、新春ジョギング大会など各種行事において交通安全の確保等にご尽力いただいています。

委嘱期間は、平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間となっています。

委嘱された交通指導員は次のとおりです。

堀口 眞彦 (ほりぐち まさひこ) さん(岩戸)
 山下 捷夫 (やました はやお) さん(出店東)
 村橋 義光 (むらはし よしみつ) さん(岩淵下)
 丸山 貞雄 (まるやま さだお) さん(仁君谷)
 長友 英俊 (ながとも ひでとし) さん(比木)
 本田 則行 (ほんだ のりゆき) さん(在南)



農業委員の紹介

一ツ瀬川土地改良区役員改選により、土地改良区推薦の農業委員が、関谷幸市委員から久保一美委員に交替となりました。よろしくお願ひします。

なお、久保一美委員の任期は、平成26年4月1日から平成26年7月19日です(前任者の残任期間)。



久保 一美 委員

木城町交通安全の集い

春の全国交通安全運動(4月6日から15日)に合わせて、木城町交通安全の集いが行われました。

木城町交通安全対策協議会の田口晃史会長のあいさつの後、商工会青年部長の田中寛昌さんが、「人にやさしく、車にやさしく、譲り合いの気持ちを大切にし、交通事故ゼロへの願いをこめて、「安心安全なまちづくり」を目指しますと交通安全宣言を行いました。



田中寛昌さんの交通安全宣言

人間萬歳

NINGEN BANZAI



たけはら こういちろう
竹原 晃一郎 さん (36 歳)
向河原団地

- お仕事 / 会社員
- 趣味 / ミニバレー、時々サーフィン
- 家族構成 / 妻・長男・次男の4人家族

このコーナーは、毎回町内在住・勤務されているいろいろな方々に登場していただきます。
さて、今回登場するのは、この人！

● 自己紹介

いつかは暖かい南国(海外)で、のんびり暮らしたいと日々頑張っています・・・。(笑)
(いいですね～。わたしものほほんとした生活に憧れています。)

● 最近の出来事やニュースなどで気になること！

子どもが犠牲になるニュースは、いつも自分のことのように心を痛めます。
(本当そうですね。子どもは宝です。みんなで大切に、時に厳しく育てていきたいです。)

● その他・・・コメント

好きな言葉は、「やらずに後悔するより、やって後悔したい」何にでも challenge していきたいです。
(前向きな気持ちがストレートに伝わってきます。わたしも見習わないと!!)

木城町 Information

1

★木城野球スポーツ少年団★ 県大会出場へ

4月5日(土)、6日(日)に行われました「第34回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会児湯支部予選」において、34回の長い歴史の中で初優勝を飾りました。

団結を力にして、一戦一戦、戦うごとに粘り強くなって勝ち上がりました。

来る5月31日(土)、6月1日(日)に日向市で行われる県大会においても、どこにも負けない「チームワーク」で、さらなる活躍を期待したいと思います。



大山 晴幸 主将

●コメント

今度の県大会ではチームワークを大事にしてがんばりたいです。野球部全員の夢である全国大会を目指したいです。

～ 活力と潤いに満ちた生きがいと魅力ある町づくり ～

高城合戦歴史講演会

2月15日(土)リバリスホールにて、開催されました。

講師は都城歴史と文化のまちづくり会議 理事長 田代義博氏で「都城北郷氏と高城合戦」の演題で講演して頂きました。

内容は、戦国時代の宮崎県内の都城方面を支配する北郷氏の様子と高城合戦を絡めたものであり、ソフトな口調で大変分かり易いもので、参加者は歴史に思いを馳せる貴重な時間を過ごすことが出来ました。



田代義博氏による講演

ひとつぎ会による踊りの披露

木城町スポーツ少年団卒団式

3月14日(金)木城町体育館にて開催されました。

当日は各少年団の小学6年生及び中学3年生の団員22名のこれまでの頑張りを褒め、それぞれに卒団証書及び記念品を贈りました。

各少年団で培った体力、精神を大切に、今後とも頑張ってくださいと思います。



卒団証書授与



卒団する団員のあいさつ

生命はかがやき 心はよろこぶ
かがくいひろし絵本原画展

2014年4月19日(土)～6月8日(日)

料金/ 大人 500円
 小中高生 300円
 (幼児は100円引き)



かがくいひろしさんは、54才のあまりにも早い生涯の最後の4年間に、彼の人生のすべてをかけるおどろくべき集中力で15冊の絵本を描き、原初的で豊かな生命力とユーモアに満ちた独自の絵本世界を創造し、永遠にかがやく光彩を放ちつづけています。
 かがくいさんの絵本の中から、『だるまさんの『なつのおとずれ』』『みみかきめいじん』『がまんのケーキ』『まくらのせんじんーそのあなたの巻ー』の5冊の絵本原画を展示いたします。
 緑の光あふれる初夏の木城えほんの郷の郷の一日をお楽しみください。

■ 島の愛付帳
 水島尚喜さんの講演会
 「生きることを教えてくれた 恩友かがくいさんを語る」
 5月18日 13時～

■ 島のえほん館
 絵本の展示
 「たのしい絵本を手ににとって!」

木城えほんの郷2014 (4/29～5/6)



■ みどりの島のおはなし会
 「絵本を読んでもらったことがありますか」
 真から聞こえることが、目から入ってくる。あなたの心の中に、たのしい絵本の世界をふくらませてくれます。子ども大人も一緒に、絵本やおはなしの世界をお楽しみください。

■ 島の広場・島の愛付帳
 作ってあそぼう
 えほんの原にある絵本の中の作りかたが、たのしい製作のよこごえ
 竹の器・竹のタイコ・性たぐりなど (4/29, 5/3～6)
 釣りばねで作って遊ぶ釣りご (5/3～6)
 「だるまさんのキューブズ」 (5/29 PM 5/5)
 「絵本のバナー」
 ペーパーバッグづくり (5/4)
 科学あそび「裏手の紹介」 (5/3 参加費 300円)

■ オープニングセレモニー
 4月29日(日)11時
 新緑の下、木城えほんの郷2014のオープンを子どもたちと、花のチアアップ

木城町の人口
 (平成26年4月1日現在)

■ 人口: 5,154人 (先月比-19人) 男: 2,418人 (-4人) 女: 2,736人 (-15人)
 ■ 世帯数: 1,982世帯 (先月比-3世帯) ■ 町面積: 146.02km²